

住宅再建相談会のお知らせ

〔平成25年7月開催分〕

今般、住まいの再建をご検討されている方を対象に、災害復興住宅融資のご相談を承る「住宅再建相談会」を実施しますのでご案内します。どうぞ、お気軽にご相談ください。

日時： 7月14日(日)

①10:00～11:00 ②11:00～12:00

③13:00～14:00 ④14:00～15:00 ⑤15:00～16:00

場所： 新地町役場 103会議室

(住所：相馬郡新地町谷地小屋字樋掛田30)

内容： 住宅の新築、リフォームに関するご相談
公的支援制度などのご相談
災害復興住宅融資のご相談

※参加料はかかりません(無料です。)

※事前予約制となっておりますので、お電話でのご予約をお願いします。

新築、リフォーム、公的支援制度のご相談は予約不要です。

※定員になり次第、お申込みを締め切らせていただきます。

※相談時間はお一人様1時間とさせていただきます。

〔事前予約はこちら〕

住宅金融支援機構東北支店 TEL 022-227-5035

午前9時～午後5時(土日・祝日を除く)

〔住宅の新築、リフォームに関するご相談〕

復興住宅のモデルプランはどのようなものですか。

住宅建築には、どの程度の費用がかかるのでしょうか。 など

→ 専門家(建築士)がお答えします。

〔公的支援制度などのご相談〕

住宅を新築する場合、受けられる補助はどんなものがあるか、いくら受けられますか。

改修やリフォームをしたいが、助成制度を知りたい。

建築確認等について相談したい。 など

→ 被災時の世帯構成等をお伺いし、福島県職員がお答えします。

〔災害復興住宅融資のご相談〕

災害復興住宅融資を利用した場合の返済額の目安を教えてください。

高齢だが、災害復興住宅融資を利用し住宅再建ができるかを確認したい。 など

→ ご事情をお伺いし、住宅金融支援機構職員がお答えします。

住宅再建相談会に参加された方に復興住宅（モデルプラン）冊子をプレゼント

地域型復興住宅（第2版）

～住まい手と作り手が力を合わせて住宅再建を～



Point 1 長期利用とは？
住まいは丈夫で長持ちすることが基本です。そのためには、次の基本性能を新築時から考慮し、リフォーム段階で多大な費用がかかったり老朽化が進むこととなります。
●耐久性に優れた住まいづくりには、床下・小規模の換気、外壁の遮熱、十分な高さの床下空間等の検討をします。
●将来的メンテナンスのために、床下・小規模換気口の設置や、文庫が設置可能な設計・設備仕様とし、建設事業者のメンテナンス対応についても十分な検討をします。
●防災安心のために耐震性の高い住まいとする。

Point 2 将来成長とは？
新築時から築替の計画や取り替えることが理想ですが、事情によって実現することが困難な場合も、住みながら、築替の計画に合わせて準備していくという考え方もあります。
そのための工夫の一環として、次のことなどが挙げられます。
●居住空間を小さくし、自由空間を広く取り、将来的に合わせて必要に応じて仕替えるようにする。
●住まいの大きさは、希望できるコストに大きく左右されることから、建築費や設備費の削減を前提として考えるように準備したり、増築を想定した計画をします。
●築替の準備や手元の設置、スロープの設置など新築時から高齢者に配慮したバリアフリーを考慮した計画をします。

Point 3 環境対応とは？
東日本大震災で改めてエネルギーを大切にしなければならぬことが認識されました。そのための対策として次のエネルギー対策が効果的です。
●壁紙の外装、窓などの断熱性能を高めた際、窓の設置や遮熱を工夫することでより省エネ効果を向上させる。
●断熱材、遮熱材、防湿材もエネルギー性能の高低にも影響する。
●太陽光発電、蓄電装置などエネルギーを蓄え、蓄えることで必要な時に活用できる。また、新築時に取り入れない場合でも既設設備でできるような工夫も検討する。

Point 4 廉価とは？
シフトで自由の多い賃貸や、建設された建築費の活用、標準の工法での採用、適切な材料購入、生活者視点の建築など、地域型復興住宅グループの生産性を高める工夫・努力によりコストの削減を図ることが期待されます。

Point 5 地域適合とは？
地域の文化や気候風土に調和したまちづくりにより、地域の文化や気候風土に調和したまちづくりに貢献でき、快適に暮らしていただけます。
地域の建ち、事業者が活用することは地域の発展につながります。

地域型復興住宅として提案する
新築から築替の計画や取り替えることが理想ですが、事情によって実現することが困難な場合も、住みながら、築替の計画に合わせて準備していくという考え方もあります。
そのための工夫の一環として、次のことなどが挙げられます。
●居住空間を小さくし、自由空間を広く取り、将来的に合わせて必要に応じて仕替えるようにする。
●住まいの大きさは、希望できるコストに大きく左右されることから、建築費や設備費の削減を前提として考えるように準備したり、増築を想定した計画をします。
●築替の準備や手元の設置、スロープの設置など新築時から高齢者に配慮したバリアフリーを考慮した計画をします。

住まい再建への5つのポイント
Point 1 住まい手と作り手が力を合わせて住宅再建を
Point 2 将来成長
Point 3 環境対応
Point 4 廉価
Point 5 地域適合

地域にふさわしい住宅を取得する際の概算工事費や災害復興住宅融資をご利用いただいた場合のローンシミュレーションをお示し、住まいの再建をお考えの方にわかりやすくお伝えする内容となっています。

住宅再建相談会には参加できないのですが・・・

電話でもローンシミュレーションサービスを実施中

災害復興住宅融資のお申込みを検討されている方のご計画をお電話で伺い、ローンシミュレーション(毎月の返済額、総返済額など)の結果をご案内させていただくとともに、ご希望の方に対しては、ローンシミュレーション結果をご郵送させていただきます。

〔お申込み先〕 住宅金融支援機構お客様コールセンター(災害専用ダイヤル)

0120-086-353 (9:00~17:00 祝日、年末年始を除きます)



融資審査の結果により、融資をお断りしたり、希望融資額を減額することがあります。

【主催】福島県居住支援協議会(福島県)、住宅金融支援機構
【後援】国土交通省、復興庁、新地町

(平成25年6月25日現在)